

政策調整会議の概要

開催日：平成20年6月19日（木）

◎項目

- 1 高知県からの提案・要望と「骨太の方針2008」（素案）について【政策企画部】
- 2 岩手・宮城内陸地震について【危機管理部】
- 3 新安芸・芸陽病院整備の「基本的な考え方」について【公営企業局】

◎内容

- 1 高知県からの提案・要望と「骨太の方針2008」（素案）について【政策企画部】

6月17日に出された「骨太の方針2008」（素案）に、本県からの提案・要望がどれだけ反映されているか等について、各部局から報告があり、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 骨太の方針は、6月27日に閣議決定されると、来年度の政府予算がこの枠組みの中で固まってしまうため、閣議決定の前に、骨太の方針に本県の提案・要望内容をどう書き込んでもらえるかが当面の勝負であり、これまでの取り組みを整理したものが今回の内容である。
- ・ また、これから、本県の提案・要望が概算要求に確実に反映されていくよう、本庁と東京事務所が連携して、積極的に動いていく。

（反映状況）

1. 雇用情勢の地域差の是正対策
雇用状況の特に悪い7道県に対する重点的な支援ということが入っていないという感じがしている。
2. 国内産農産物の消費拡大策の拡充
国内産の消費を奨励する文言が入った「21世紀新農政2008」を着実に実施する、という表現が入り、「食料自給率の向上」「主食用米の需要拡大」といったことが入っており、要望が反映されたと考えている。
3. 医師不足への対応
知事に厚生労働省の事務次官に直接話をさせていただいたところであり、医師不足を解消する、女性医師の就労を支援する、といったわれわれが主張してきたことが徐々に実現されていると考えている。
4. 中山間地域における福祉サービスの確保対策
直接ということではないが、規制緩和ということが出ており、「障害者自立支援法について、障害児支援の在り方などの抜本的な見直しを行う」とはっきりと文言が出ている。
5. 学力の地域間格差解消対策
この要望は、具体的な教員の配置といったものであったので、その点については「教育振興基本計画」の中で謳われている「確かな学力の定着」という部分で大きくは反映されているだろうと思う。

6. 少子化対策の充実

(1) 就学前の保育・教育の充実

幼保の一元化については、「補助金の一本化による「二重行政」の解消策を検討し」というところで読み取れる。

(2) 放課後子どもプランの充実

就学援助を受けている児童に対する児童クラブ利用料金の免除に対する財政支援措置等をお願いしているが、細かい部分は分からないので、もう少し精査して報告する。

7. 地域間格差の是正に向けた真に必要な道路整備の促進

県内道路が年間1万5千時間通行止めになっている、災害になった時には幹線道路の代替路線がないということを訴えてきたので、「必要と判断される道路は着実に整備する」というところに反映されているのではないかと。

8. 大規模地震対策

「東南海・南海地震」と地震名を特定してほしいと要望していたが、2007年の頃から「大規模地震」という言葉になっており、なかなか難しい。ただ、小中学校の耐震化については、法律の整備も一定進んだし、動きは出てきている。

9. 財政力格差の是正策

相当時間をかけて実状を説明してきたが、大体予想通りの表現になっている。

10. IT化の地域間格差の是正

地上デジタル放送やブロードバンドについて、国の方向性は本県と同じであり、具体的な課題の解消に向けて方策を見直すということなので、継続して要望していく。

2 岩手・宮城内陸地震について【危機管理部】

危機管理部より、岩手・宮城内陸地震についての現状の報告と講演会の案内があった。

3 新安芸・芸陽病院整備の「基本的な考え方」について【公営企業局】

新安芸・芸陽病院整備の「基本的な考え方」（公営企業局案）について、公営企業局より説明があった。

【説明概要】

- ・ 安芸保健医療圏で適切な精神科医療を提供するために、芸陽病院を存続する。
- ・ ただし、将来の人口減少を勘案して、病床の機能としては、一定サイズダウンしている。
- ・ 県下全域をにらんだ精神科医療、政策医療については、高知医療センターに精神科病床を設置して運営することを要請する。
- ・ 安芸病院については、安芸保健医療圏の中核病院として、2次医療をほぼ完結できる医療体制を構築することを目指して整備する。
- ・ 特に、救急医療、周産期・小児医療、脳神経外科などによって、充実を図る。
- ・ 経営効率やコスト削減の観点から、同時期に整備する安芸病院と経営を統合し、一つの病院として経営する。

以上